

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 1 月 22 日作成)

小委員会名	環境振動評価小委員会	主 査 名：鈴木雅靖 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境振動運営委員会)	委員長名：岩田利枝 主 査 名：国松 直
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境振動にかかわる最新の研究，および実務動向に関する情報収や，国際規格にかかわる情報収集などを行う。 ・環境振動性能評価の現状や問題点の把握，および課題の抽出を行い，今後の環境振動性能評価のあり方を模索するとともに，環境振動に関する性能評価手法の学会会員への普及を図る。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有→稲井慎介(新委員)	
	主査：鈴木雅靖 (鹿島建設) 幹事：富田隆太 (日本大学) 委員：石川孝重 (日本女子大学)，石川理都子 (大林組)，稲井慎介 (戸田建設)，植松武是 (北海学園大学)，内田季延 (飛島建設)，川久保政茂 (円石コンサルタント)，国松直 (産業技術総合研究所)，新藤智 (西日本工業大学)，久木章江 (文化学園大学)，濱本卓司 (東京都市大学)，益田勲 (日本交通技術)，松本泰尚 (埼玉大学)，横山裕 (東京工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	複合振動 WG/建築物に発生する複合振動波形を幅広く収集・代表的な複合振動に対する調査、複合振動評価に関する課題を洗い出し、評価法へと繋げる	
2018 年度予算	125,000 円	ホームページ公開の有：委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s17/subcommittee2_performance/AIJ_EVSC2index.html

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 複合振動 WG の設置 2. ISO108-2017 年度報告調査 3. 「環境振動判断範疇」委員会案を HP に掲載。
委員会活動の問題点 ・課題	

2018 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

<p>総合評価 (4 段階評価)</p>	<p>A</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>当初の予定通り。 改訂予定の居住性能評価規準・居住性能評価設計指針を踏まえた上で、今後の環境振動評価のあり方について検討。都市部の複雑な振動発生状況を評価するための、複合振動の評価のあり方や、一般の人を対象とした振動感覚の表現方法等について検討。 複合振動については WG として立ち上げ、議論を深めながら実験による検討を模索している。 環境振動の見える化については、振動についての専門的知識と経験的知識のない人達への表現について、学生アンケートなどを通してヒアリングしながら模索している。</p>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。